

特定外来生物

サクラやウメを
食い荒らし枯らす！

クビアカツヤカミキリ 警戒中！！

木クズを見つけたら
要注意！！



フラス

(幼虫のフン・木クズ)

© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

つかまされると
臭い液を出す

胸部(首の部分)
が赤い！

実寸大
(体長 2.5～4cm)

5 月末～8 月頃
成虫発生！

光沢のある
黒いボディ

成虫を見つけたら、
踏み潰すなどして駆除を！

木の内部を食い荒らし
枯らす！

主にバラ科の樹木に付き、
幼虫が木を内部から食い荒らします。
木からは大量のフラス(幼虫のフンと木クズが
混ざったもの)が排出され、侵入された木は弱り、
枯れてしまいます。

もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、2011年に
埼玉県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

近隣地域における新規発見状況

奈良県生駒市(2019.9)、大阪府高槻市(2021.6)、兵庫県明石市(2022.6)、兵庫県神戸市
(2022.7)、兵庫県芦屋市(2023.6)、大阪府枚方市・兵庫県西宮市・奈良県奈良市(2023.7)



まだ京都では確認されていませんが、
大阪、兵庫、奈良など
近隣地域で被害拡大中

◀ クビアカツヤカミキリの侵入地域(2024.3)

国土交通省 国土数値情報(行政区域データ)(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2024.html>)をもとにきょうと生物多様性センター作成

見つけたら、
京都府まで通報をお願いします

京都府 自然環境保全課

TEL/FAX 075-414-4706 / 075-414-4705
メール shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

影響

もしクビアカツヤカミキリの被害が拡大したら…

⚠️ お寺や神社の **サクラやウメが枯れてしまう!**

⚠️ 桜の名所が **なくなる!**

⚠️ ウメやモモなどの **果樹が作れなくなる!** かも…



< 樹木内の幼虫 >

被害を防ぐためには **早期発見が重要!**

クビアカツヤカミキリの幼虫は

およそ **2年間** も木の中にいる



4月~10月頃
確認がしやすい!

探す

手がかりは

フラス

(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)

< クビアカツヤカミキリの一生 >

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1年目		卵	幼虫
2年目	幼虫	蛹室をつくる ----->	幼虫 (蛹室内)
3年目	幼虫 (蛹室内)	蛹→成虫	成虫

初夏~盛夏に卵を
木に産みつける

フラスの特徴

よく見られるフラスの様子

2~5mm ほどの太さで、
ひき肉のように
連なって出てくる



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

フラスの拡大写真

拡大すると、木くずはスプーンで
くりぬいたような形をしている



被害の進んだサクラ

被害が激しくなると、
木の地際に大量の
フラスがたまってくる



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

参考文献：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

- ☐ 首の赤いカミキリムシを見つけた
- ☐ サクラやウメから木クズが大量に出ている

ご連絡ください

京都府 自然環境保全課

TEL 075-414-4706 FAX 075-414-4705

メール shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

京都府の外来生物対策
についてはこちらから ▶
<https://www.pref.kyoto.jp/gairai/>

